



堵した。温かく迎えていただいた地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいであった。

2年目は大きな改革をした。それは、職場を生徒自身で決め、自分たちで職場に交渉して受け入れてもらうことにしたのである。この改革案には大きな不安もあり、難航したグループもあったが、結果としては成功であった。生徒たちの取り組みもますます真剣となり、たくさんの職場から反対にお礼を言っていたりした。

年々軌道に乗っていき、教室では学ぶことのできない多くのことを学ぶ行事になっていった。また、仕事の厳しさや喜び、楽しさを少しは感じることもでき、将来の進路選択の参考になったことだと思う。

(当時の校長の西 良嗣先生談)

(7) 新プールの用地造成工事始まる

坂野保育所西側、坂中校舎北東端のフェンス沿いに、昭和45年から使われてきた市民プールがあった。夏は坂中生や坂小児童が体育の授業で使い、坂野保育所や坂野幼稚園も水遊びで利用していた。夏休み中は市民にも開放され賑わっていたが、平成10年頃には老朽化して使用できなくなり、新プール建設が緊急の問題となっていた。学校や保護者、地域の方が市当局へ何度も陳情に行っており、市は坂中校舎北側の水田(一部は畑)を買い上げ用水路を造成し新プールを建設する計画とした。

平成10年頃から造成工事が始まり、まず北側校庭の境の大きなマキの木を除去し、用水路工事や坂中への出入り口の工事に取りかかった。用水路に沿って市道が拡張され、用水路全体の蓋工事も実施され安全で使い便利になった。しかし、土地はできたがプールの工事は行われず、今は駐車場として利用されている。

旧市民プールが閉鎖され、体育の授業で使っていた生徒・児童には大きなショックであった。その後今日まで坂小児童は、バスを利用して赤石の市民プールまで出かけている。今となっては、坂中が統合されるので、新プールが完成されていたら少しもったいなかったかなという気もしている。

(西 良嗣 元校長先生談)

(8) 研究指定校としての取組

- 平成14・15年度、文部科学省から「豊かな体験活動推進校」の指定を受け、研究に取り組んだ。
- 平成14年度から16年度まで、文部科学省から「エイズ教育(性教育)推進地域事業」の指定を受けてエイズ教育(性教育)の推進に取り組んだ。
- 平成15・16年度は県中学校教育研究会から「総合的な学習の時間」の研究指定を受けて研究に取り組み、平成16年11月12日に、県内の先生方が坂野中学校に集まって開催された「総合的な学習の時間」研究大会で、取り組みの成果を発表した。

取り組みの内容や成果については紙面の都合上省略するが、この期間はその他にもさまざまな研究指定を受けており、全教職員で研究に取り組んだ。